

西村滋 にしむら しげ 作家。大正十五年四月七日愛知縣生れ（一九三一）。少年時両親の死別。放浪生活ののち、昭和十六年有隣療養院に收容せられ、戦後同院指導員となる。二十四年有隣病院勤務、二十一年退職して文筆生活。

著書『青春廃業』（昭和二十七年二月十五日、再刊・五月十日渡辺書房）、『陽のあたらしい恋人たち』（昭和二十二年六月、二十五日春陽堂書店）、『不良少年』（昭和二十二年九月二十日平凡社）『人間の記録双書』一、『やくざ先生』（昭和二十五年九月十五日第一書房）、『母恋いしやくなげの詩』（昭和二十一年四月五日エラム）等。

